

和州吉野郡龍門神雲山醫王院大藏寺略縁起

一當寺の初基茶師如来者人王三十二代 用明天皇の勅教小治の
 聖徳太子十六歳の時國基し終る可也其後巡行者此地に
 覺徳の天皇勅教より弘仁元庚寅年空海三十七歳而て自い
 堂に中兵の御まゝ如て堂宇悉是之より新ひき春に新ひける
 儀也其時秋の月夜なるに 儀徳乃天皇御幸より来りて
 筆をうめ大藏寺と云ふ額をなす勅教の伽藍也其の
 詔入唐し其夜此中法大唐三柱と云ふ中けるけ終る空海
 自らそし彼三柱をなすより弘仁元庚寅年空海三十七歳而て自い
 少と云ふ獨住の儀也其時此堂に入て光の如くたりて海入觀
 此洞をみるに神文成りて通し指驗氣立てる惠澤をけり天下奉平
 傳けお氣岡守才一の具也此所より摩尼寶珠と云ふも終一切
 をうめ 右名大藏寺といふ及紀列を記し右の用基之因
 之りて海傳人縁起のよめ女子と云ふも此の用基之因
 此の女子五障之後の罪をそとくし今も此の用基之因
 此の二世と云ふも其日々に記し終る茶師如来の威光通
 此の用基之因を記し終る茶師如来の威光通四方
 此の用基之因を記し終る茶師如来の威光通四方
 此の用基之因を記し終る茶師如来の威光通四方

伽藍本寺の聖寶目錄

- 一本堂本寺の茶師如来寺長そ大核の末弘法大師 儀徳天皇の御作
- 大師堂三十七歳御影御自作○地蔵堂千手佛中る安河原の他小佛春日作
- 八祖相兼御指量愛深御身躰 青色の舎科 數量し其終不思儀多し
- 儀徳天皇御震筆額 摩尼寶珠 佛舍利 地蔵大師の作 毗沙門神作
- 聖觀音大師の他 大師の作 役行者御自作 弥勒三尊大師の作 三天定佛作
- 一尊不動大菩薩像弘法大師筆三幅對一地蔵惠心之筆下 弘法大師御自筆一五大尊覺徳
- 一十六羅漢十六幅一尊徳太子一代記古法眼二幅對一八祖十三天如意輪大小三幅一聖徳太子
- 一尊勝地羅尼曼荼羅一尊天二阿弥陀三幅一不動の三小一教也三尊一十六羅漢二幅對
- 一妙見星曼荼羅一尊五菩薩一十六天神一字賀神一丈鐵冠
- 一觀音延弘法大師一弘法大師行狀記繪入志儀筆一大概若經全部書本
- 右之通而し 筆者略之也 寺中 實又為畧之



大正十一年三月一日 華英雜文 卷中 卷之三

此刊の第一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編 全書本

二冊の第一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

一 一冊の大冊 刊出の會に入筆第一大編

門 3730

日本名詞辞書 第九卷